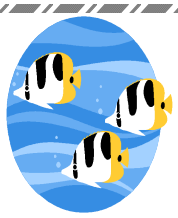
平成26年度学校だより
善誘館 NO. 4
H. 26. 7. 15
甲府市立善誘館小学校　校長室



校　訓　　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

７月に入り、いよいよ一学期もあと少しになってきました。子どもたちは一学期の学習のまとめに一生懸命に取り組んでいます。

文月（ふみづき・ふづき）

旧暦の７月「文月」の由来は、７月７日の七夕に詩歌を献じたり、書物を夜風に曝（さら）す風習があるからというのが定説となっているようです。

ところで、本校では７月７日（月）に学校集会がありました。集会では、ちょうど６９年前の７月６日から７日にかけてあった「甲府大空襲」と３年前の「東日本大震災直後の夏を迎えた仙台市のある小学校」の話をしました。

本校では、道徳の時間等に甲府大空襲を実際に体験した地域の方からその時の話をしていただく機会を設けています。ですから、集会でも多くの子どもたちが甲府大空襲のことを知っていました。

これからも子どもたちに、６９年前の甲府大空襲のことや平和の大切さを語り継ぐことを続けていきたいと思います。

【実際の仙台市内の小学校の教室】

一方、仙台の小学校の話では、３年前は震災の影響で４月の始業式が遅れたので、夏休み中も７月一杯は授業をやったことや自分の学校の校舎が使えないので隣の学校の体育館を使って授業をしたことを話しました。

私も実際に仙台に行って見てきましたが、体育館の中を簡単なボードで区切っただけなので狭い上に話し声は筒抜けだし、外から涼しい風を送り込んでいましたが、蒸し風呂のようでした。それでも子どもたちは、遅れていた分を取り戻そうと一生懸命がんばって勉強していました。（※あまり知られていませんが、甲府市内の先生方もボランティアで授業を教えに行っていました。）

本来、人間は苦しい状況に追い込まれると、それを乗り越えようとがんばる力を持っています。それを乗り越えたときこそ、人間は成長し、たくましくなります。善誘館の子どもたちにも、少々の困難にも負けない力をつけてもらいたいと思います。また、今、平和でふつうに暮らせることに感謝する気持ちを持ち続けてほしいと思います。

花や野菜がいっぱいに

丸山文化協会会長さんからいただいた苗

大久保自治会長さんからいただいた苗

本校では今年度も南館にグリーンカーテンを設置しました。５月末にゴーヤを植え付けましたが、順調に生育しています。今年は、初めのうちに蔓（つる）を上に伸ばさないように成長点を摘んだり、花を取ったりしました。お陰で今は横に広がって密集してきています。今後はどれだけ上に密集したまま育ってくれるか楽しみです。

プランターには、色々な花が所狭しと咲いています。ペチュニアや日々草、松葉ボタン、マリーゴールドなど色とりどりです。それらの花の中には、本校で種から育てた花が多くあります。（種からの花作りは本校の伝統で本年度も教頭や教務主任ががんばって育てました。）また、地域の方からいただいた花の苗もたくさんあります。（大久保自治会長さんや丸山文化協会会長さんには、それぞれ松葉ボタンと日々草の苗をたくさんいただきました。ありがとうございました。）

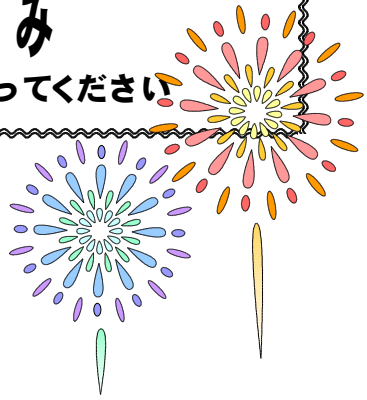
水やりも大変ですが、栽培委員会の子どもたちや教師が毎日欠かさずやっています。休みの日は、教師が当番を決めてやっています。本校を訪れるお客様から「花がいっぱいできれいですね。」とよくお褒めの言葉いただきます。その言葉が育てるやり甲斐にもなっています。

各学年で作っている畑の野菜なども豊作です。ミニトマトやキュウリ、ナス、ピーマン、カボチャ、ジャガイモなど今年は大豊作です。子どもたちも大喜びです。子どもたちが一生懸命世話をした成果です。世話をした植物が実を付けてくれるとうれしいものですね。

春先に一生懸命に畑に堆肥などを入れて土作りをしてくださった技能員の宮川さんに感謝したいと思います。ありがとうございました。

もうすぐ夏休み

楽しい思い出をたくさんつくってください



７月１９日から夏休みが始まります。健康や安全に気をつけて楽しい夏休みにしてください。２学期には心も体もひとまわりもふたまわりもたくましくなった子どもたちと会えるのを楽しみにしています。楽しい思い出をたくさんつくってください。